

夏期フランス語研修報告書

システムデザイン学部 航空宇宙システム工学コース 2年
小玉 希

9月2日の出発の日まで、たった1か月の短期留学がこんなにも自分に大きな影響を与えるなんて思いもしなかった。私にとって初めての海外生活ということもあったし、フランス語は日常会話と簡単な文法程度、英語だってそこまでペラペラ自由に操れる状態ではなかった。とにかく生活に順応してフランス語を少しでも上達できたらいいね、と早すぎて聞き取れないフランス語が周囲に行きかう成田の搭乗口で、留学仲間と不安を慰めあった。正直そこで「もっとフランス語を勉強すればよかった」なんて早速思ってしまったが、きっとこれは行く前にいくら勉強しても現地では思い知らされたかもしれない。

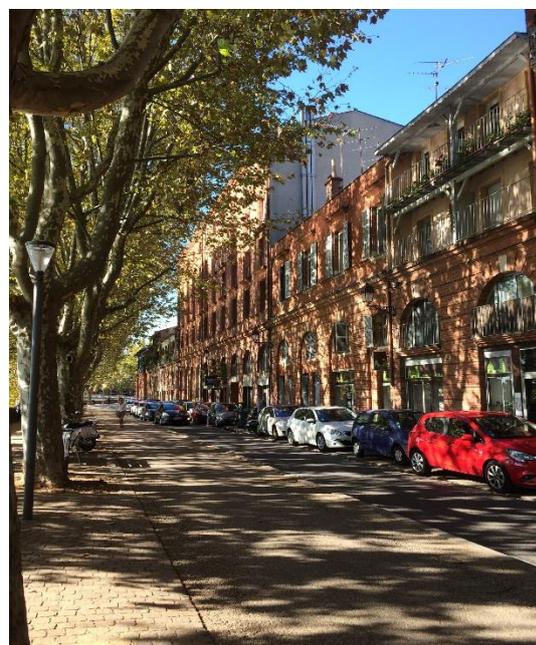
今回滞在したリヨンとはとにかく素敵な都市だ。全体が世界遺産に登録されている旧市街地はもちろん、新市街地も美しい建造物がたくさん建っておりとにかく見るものすべてが魅力的だった。



さっそく学校が始まった。初日から7時間の授業、ずっとひたすらフランス語でフランス語の授業は本当に大変だった。これが1か月も続くのかと思うと果てしなさを感じたが、それと同時に授業をちゃんと取り組めばフランス語をかなり上達できるとも感じた。実際に、授業で学んだ内容を私生活で使う機会はすぐやってきて、「あ！これは授業でやったな。」とか「先生は確かこう言ってたはず。」といつも学んだ内容をおさらいしていたため日本でフランス語を学ぶよりも明らかに上達が早かった。授業ではとにかく積極的に発表したことが大きかったと思う。言い方がわからなくても、とても簡単な文法をつなぎ合わせたりジェスチャーでもいいから、とにかく発言してみる。すると先生はすぐ名前を覚えてくれるし、また先生に「Nozomiはどう思う？」と意見を尋ねてくれる機会も多くなり、発言することで理解も深くなる。間違ってるかなと心配する必要は全くない。とにかく手を挙げるのが大切だ。だけど授業が終わればヘトヘトで、私は放課後に宿題があればやる程度で、寮で自習などはほとんどやらなかった。ショッピングに行ったりレストランに行った

り、せっかくのフランス生活だから、ずっと勉強ばかりするのではなく遊びに積極的に外出することをお勧めする。そのほうが現地の人と触れ合えていい機会になることは間違いない。

授業は大変だが、その代わり休日は週3日あるため休息も取れる。毎週水曜日は学校で企画される遠足に出かけた。土日はTGVや格安航空を使って色んなところへ旅行に出かけた。休日はゆっくり休みたい気持ちもわかるが、ぜひ時間を惜しみ旅費は惜しまず色んな場所へ出かけてほしい。思い切って出かけたことが、今でも思い出深く、とても冒険的で自信もついた。



どの街もその街らしさがあり流れている時間も違う。様々な文化や人と触れ合うことができ、1か月の滞在だからこそできることもたくさんある。留学をしてみて、今まで自分が知らなかった文化を肌で感じ、ありきたりかもしれないけれど世界観が大きく広がった。

しかし同時に、今まで憧れていたヨーロッパの風景に自分が滞在していたのだと考えると、世界は想像以上に近い。おそらくこれから留学することを検討して、この報告書を読んでいる皆さんは、悩むことなく応募して留学すべきだ。留学は想像している以上に遥かに自分自身を成長させてくれる。たった1か月だが実際に留学を体験した私が保証する。しかし大きく成長するには、積極的に違う世界へ飛び込むことが大切だと覚えておいてほしい。では、留学を思い切って楽しんで！ Bon voyage！